

# 動物ふれあい&羊毛ボール作り体験①

【要電話予約(先着順)】



※ この活動は、  
学校団体のみ  
受け付けます。

団体に準備するもの

・タオル

活動時間 **1時間**

牧場で飼育しているヒツジやウサギ等にふれあうことを通して、人間、動物、自然の三者の関係で牧場が成り立っていることを実感することができます。

## ウサギについて

### 活動例：主にヒツジ牧場見学

(1)集合	・「牧場前」に集合
(2)諸注意	・羊との接し方についての注意 ・牧場内での注意など
(3)見学	・牧場内の見学 ☆ えさを食べているところ ☆ ヒツジ、ウサギに触れてみる等
(4)まとめ	・質問など

※ 講師による指導となります。(要予約)

ウサギはご存知のように毛がとてもふわふわしていて、耳が長く見た目がかわいらしく大人から子どもまで幅広く好かれる人気のある動物です。体重は、1kgから10kgと品種によってかなり大きさは異なります。寿命は8年から10年です。

ウサギは生後4か月から半年で子どもを産めるようになり、メスが一回に産む子どもの数は5羽、又は10羽以上産むこともあり大量出産型の動物です。生まれたばかりの子どもは最初、目も耳も閉じていますが約2週間弱で目が開き、3週間ぐらいでえさを食べたり巣から出て活動したりします。

## ヒツジについて

ヒツジはウシ科に分類されます。ウシ科には、ヒツジの他にウシ、ヤギなどがいます。

ヒツジは、人類史上最古の家畜と言われて7000～8000年前から家畜として生きてきました。

木の皮や木の実も食べるヤギと違って、草だけを食べて生きていきます。寿命は大体10年から15年くらいです。年に1回、概ね1頭だけ子どもを生みます。

ヒツジはすごく寂しがりやで、大勢のヒツジの中で誰か1頭が移動を始めると、全員がついていきます。また、群れから1頭だけ引き離されると、その1頭は強いストレスを感じます。気の合う仲間ならより落ち着くらしく、仲間の顔をしっかりと覚えているようです。実験によると、50頭以上の仲間の顔を区別して覚えることができるとのこと。

ウサギは、学習能力が高く、とても頭がよい動物です。目は顔の横にあり視野はとても広く広範囲(左右330度)まで見えますが、視力はあまりよくなく、色の判別ができません。耳は長くて大きく、左右別々に動かせるので小さな音もしっかりと聞き取ります。鼻はいつも細かくぴくぴく動いています。においに敏感です。歯は上の前歯2本は実は裏側にも生えています。

### ☆ ウサギになついてもらうには

いきなり頭を撫でようとしたり、だっこしようとしたりしてもウサギは怖がってしまいます。まずは身をかかめて体を小さく見せ、餌(えさ)を持って少しずつ近づいていきましょう。ウサギが餌(えさ)を手から食べてくれるようになり、徐々に触らせてくれるようになれば、だっこができるようになるまでもう少しです。

★ 牧場付近への車の乗り入れはできません。



# 動物ふれあい&羊毛ボール作り体験②



※ この活動は、  
学校団体のみ  
受け付けます

当所で準備できるもの

- ・羊毛
- ・フェルティングニードル
- ・ウレタンマット

羊の毛刈りをした後の羊毛を使って羊毛ボールを作ってみましょう。

## 作り方

羊毛を適量取り出して、手で羊毛の形を整えて羊毛にフェルティングニードルを刺していきます。

① 羊毛を手で作りたい大きさに丸めます。

最初にきつく丸めておくと、刺す回数が減ります。

② 丸を作るときは、一か所だけを集中して刺すのではなく、まんべんなく刺し固めていくことで表面がきれいに仕上がります。

フェルティングニードルを羊毛に対して、まっすぐ刺して、抜いてを繰り返します（以後、チクチクするという。）。この時、羊毛を動かしてまんべんなくいろんな角度からフェルティングニードルでチクチクしてください。同じ場所ばかりチクチクしていると、その部分だけがへこんでしまいます。

あまりチクチクしすぎると硬くなり過ぎますので、手の中で羊毛の弾力を確認しながら作業してください。指を刺さないよう気を付けましょう！

## 費用

羊毛ボール作りの材料費は無料です。

## 対象

小学生・中学生（学校野外活動のみ）

## 活動の流れ

(1) 集 合	・集 合
(2) 事前指導 (10分)	・ヒツジや毛刈り・羊毛についての話
(3) 羊毛ボール作り	・羊毛ボール作り
(4) まとめ	・まとめ